

## 図書館だより

～ 今月のおすすめ本 ～

### ふるさと富士名鑑

山と溪谷社

昨年、世界遺産に登録された「富士山」。日本各地には「〇〇富士」と呼ばれる山がたくさんあります。若狭富士「青葉山」をはじめ、地元のシンボルとして敬われ愛される「ふるさと富士」の歴史や観光情報を紹介しています。(東)



### いま教わりたい和食

銀座「馳走呟」の仕事

平松洋子

ユネスコの無形文化遺産に登録され、注目されている「和食」。食エッセイの名手と名店の料理人のコラボで、その魅力を伝えています。24の旬の食材を使った118品は、写真を見るだけでも清々しく、その本質が表れているようです。(西)



▶詳しくは、東図書館 (☎ 62・0190) 西図書館 (☎ 75・5406) へ。

## くらしの豆知識

～ 「裁判になる」と脅す架空請求 ～

「料金未払いがあり、ほうっておくと裁判になる」などと脅す架空請求に注意!

「紛争処理支援センター」「仲裁相談センター」など、公的機関を思わせる名称を用いた団体からハガキが届いたという相談が多く寄せられています。

内容は、過去に利用した訪問販売業者への料金未払いや契約違反があると思わせ、それに関して『裁判所に訴状が提出された』、「給与・不動産を差し押さえる」などと脅して不安にさせたうえで、早急に連絡するように要求するものとなっています。

身に覚えがない請求は、絶対に相手に連絡したりお金を支払ったりせずに無視してください。不安を感じたり対処に困った場合は、すぐに消費生活センターに相談を。

舞鶴市消費生活センター ☎ 66・1006



紛争問題確認書  
この度ご通知致しましたのは、以前貴方が契約されていた訪問販売会社が…

内容確認勧告通知  
本状は、契約販売業者及び回収業者があなたに対して主張している紛争問題が…

## 防災ひとくちメモ

### Q&A 『梅雨』 って…?

#### Q: 『梅雨』 はなんで毎年夏頃にくるの?

夏が近づくと、南から暖かく湿った空気を持つ太平洋高気圧が張り出してきて、北にある冷たい空気を持つオホーツク海高気圧と日本付近でぶつかります。この2つの高気圧がぶつかるところに「梅雨前線」ができて、雨をたくさん降らせませす。このため、毎年夏の前に『梅雨』になるのです。

太平洋高気圧がだんだんと強くなると、「梅雨前線」は北へ押し上げられ『梅雨』が明けて夏になります。

#### Q: なんで『梅雨』 っていうの?

これにはいくつかの説があります。

- ①中国でちょうど梅の実が熟す頃に降る雨なので「梅雨」と呼んでいたのが日本へ伝わった。
- ②梅がよく生える時期なので「梅雨」と呼んだ。
- ③「くさる」という意味の「潰れる」から変化した、というのが主な説とされています。

▶詳しくは、危機管理・防災課 (☎ 66・1089) へ。

## ドクターTのひとりごと

### その24 「管理職に対する人事評価制度試行について」

今年度から管理職を対象として試行的に人事評価制度を導入しました。この制度は給与や任用などの処遇に差をつけることだけを目的とした短絡的な評価ではありません。職員一人ひとりの能力や行動、仕事ぶりを評価して、今の状態がどうであるか、フィードバックすることによって、気づきを与え、自学に働きかけ、職員の能力開発や人材育成に役立てることに主眼を置いたものです。

これを活用し、舞鶴市役所に必要とされる人材の育成に取り組むことによって、市役所の組織力を高め、市民サービスの向上に繋がりたいと考えています。年度初め(期首)に、すべての部署で上司と部下が、組織目標を確認し合い、職員一人ひとりに職務目標を設定し、期中に助言指導、期末に達成度を測る評価を行うものです。

上司は、評価の場において、部下に発揮できなかった能力や行動があれば、よく発揮するためのアドバイスを、よく発揮できた能力や行動があれば、より発揮するためのアドバイスを、目標を達成できなかった場合は、その原因を明らかにし、どのような点をどう改善すれば良いか、助言指導を行います。

人事評価を通じて、職員一人ひとりの人材育成を図ることは、「市民に信頼され、市民の役に立つ市役所づくり」に極めて重要であると考えております。

## 「引き揚げ」の記憶を次世代へ

引揚記念館に展示・保管している海外からの引き揚げやシベリア抑留などに関する約1万2千点の資料の中から、今回は「鉛筆」を紹介します。

当館に展示されている資料の多くはシベリア抑留に関するものですが、そうした資料の中には、一見、シベリア抑留とは無関係に思えるものもあります。それらの多くは、辛く苦しい抑留生活の中での「生きて祖国の土を踏もう」という心の支えでした。今回紹介する鉛筆もまた、そのひとつです。

この鉛筆の寄贈者は、ハバロフスクから北西に200キロ離れたウォロシロフに收容され、ソ連軍の兵舎の建設などにあたりました。收容所は、馬小屋にわらを敷いただけの環境で、とても人間的な生活を送れるものではありませんでした。

しかし、終戦から3年が経つと環境も少しずつ改善されはじめます。日曜日には外出が許されるようになり、寄贈者は、收容所の近くのロシア人の家で薪割りの手伝いをして、少しばかりの現金収入を得ることができるようになりました。

シベリアに抑留されてから初めて得た現金を握



◀抑留中に購入した鉛筆

りしめて向かったバザールで、最初に購入したのは空腹を満たすためのパンと、「書きたい」という欲求を満たしてくれる鉛筆でした。手に入れた鉛筆で、新聞の切れ端に日々の想いをつづったり、時には同じ收容所の戦友に自身の住所と名前を書いて渡したりしましたが、本当に書きたかったのは、日本に残した家族への手紙です。しかし、寄贈者のいた收容所ではそれは許されず、悔しい思いで鉛筆を握りしめながら、寝ても覚めても思い起こすのは、日本にいる家族のことばかりでした。

日本への帰還が決まり、大切に用いていた鉛筆も持ち帰りました。この一本の鉛筆は、伝えることのできなかつた家族への想いを、今、私たちの心に語りかけてくれています。

▶詳しくは、引揚記念館 (☎ 68・0836) へ。

## 広げよう人権の輪 ～世界がひとつの家族のように～

世界がひとつの家族のように  
作詞…鮎川 めぐみ  
作曲…千住 明

1 悲しいニュースを聴くたびに  
どうしてなのかと考える  
何かが出来るわけじゃない  
ただ心は動いている  
空に星がきれいだね  
風に花が揺れているね  
世界がひとつの家族のように  
もしもなれたらどうだろう  
遠くに暮らす君のこと  
もっと知りたくなるだろう

2 あたりまえに過ぎる景色が  
幸せなんだと気付く時  
昨日より今日少しだけ  
優しくなる気がするよ  
響き合える果てしなく  
目に映るすべてのいのち  
世界がひとつの家族のように  
もしもなれたらどうだろう  
毎日出会う君のこと  
もっと大事になるだろう

3 空に星がきれいだね  
風に花が揺れているね  
世界がひとつの家族のように  
もしもなれたら素敵だね  
今この時を生きている  
同じ名前の星の上

「世界がひとつの家族のように」  
公式ホームページより

これは、世界人権宣言が採択65周年の節目であった昨年に作られた京都府人権啓発イメージソングです。

作詞者である鮎川さんは、「遠いところでおきている争いも、日々の生活の中でのすれ違いも、すべてはひとりひとりの心から起こること。家族、学校、会社、社会、人が集まる場所には、その人の数の分だけの心があります。そして、同じ心はひとつとしてありません。すれ違いも争いも、仕方がないことかもしれません。けれど、私たちは、その心を分かり合おうとしたり、寄り添いたいと思ったり、違うけれども、認め合うことができます。そして、同じ物や、景色を見て、感動することができます。違うけれども、同じ時を、同じ地球に住む者同士として認め合えたら…家族のような、無条件の愛を持って許し

合えたら…何かが変わるかもしれません。」そんな気持ちを歌詞に込めたと話されています。

私たちは、年齢や性別、国籍や文化、性格や価値観など、さまざまな違いの中で生きています。そうした違いを、私たちは認め合うことができているでしょうか。時として、自分と違う見方や考え方をする人に対して、私たちの心は、その人を排除しようとすることがあります。私たちが、さまざまな違いを受け入れ、その違いを認め合うことができれば、今よりも豊かな人間関係を築くことができ、ひとりひとりの人権が尊重される社会が実現するのではないのでしょうか。

世界がひとつの家族のようになれば…とても素敵なことだと思いませんか。 《人権啓発推進室》